

第428回定例研究報告会 2017年12月19日

2018年の内外石油情勢の 展望と課題

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

化石エネルギー・電力ユニット 石油グループ

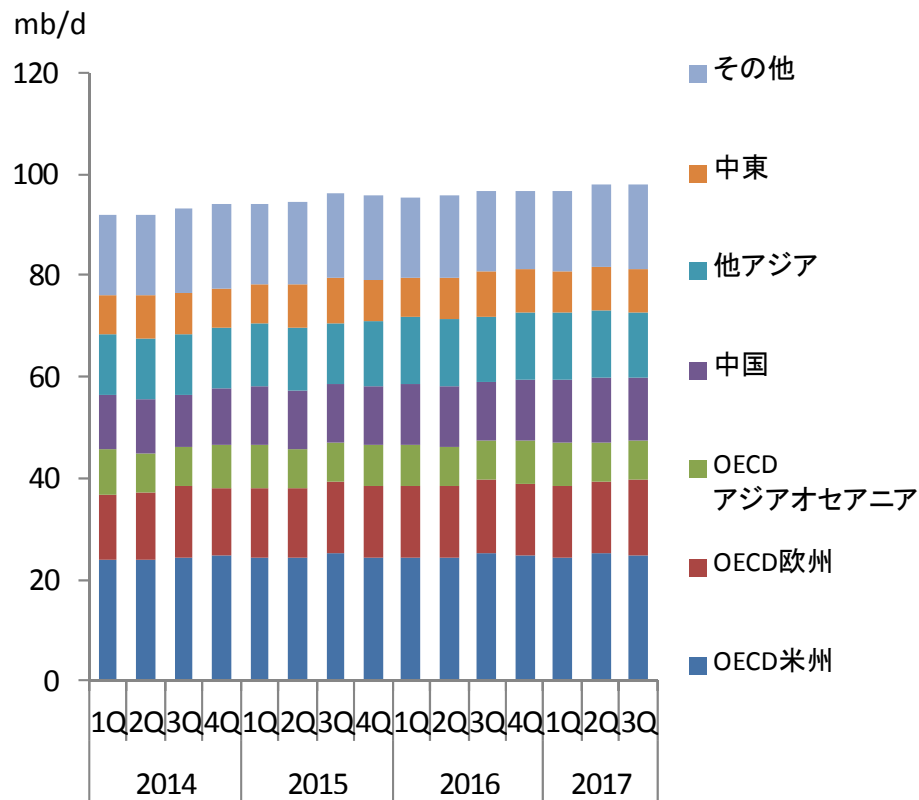
森川哲男

本報告のポイント

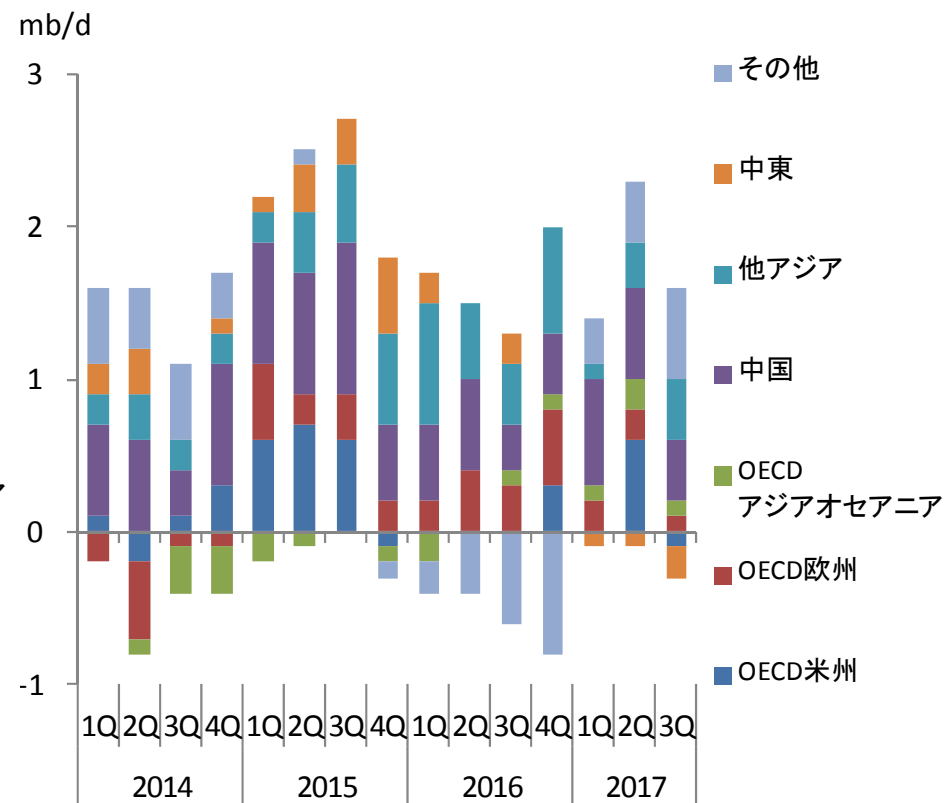
- ✓ OPEC・非OPEC産油国10カ国による協調減産が継続する一方、シェールオイルを中心とする米国の増産も続く。需要は堅調に推移し、需給はほぼバランスして推移する。新興国の金融市場リスクや地政学的リスクは存在するものの、世界経済も好調さを維持する。
- ✓ このような需給ファンダメンタルズ、政治・経済状況が続く前提で、2018年の国際原油(Brent)価格は、平均で\$65/bblと予測する。但し、米国での増産が想定以上に進んだり、中東情勢が更に悪化したり産油国供給支障があれば価格は大きく変動し得る。
- ✓ 国内石油精製・販売事業環境が改善する中で、総合エネルギー企業化と並んで海外事業の重要性が高まっている。しかし、アジアや中東を中心に製油所計画が乱立する状況では、海外での新規製油所投資に残された機会は多くない。販売事業やトレーディング事業強化によって販路を確保しつつ、産油国との協業も通じて新規事業拡大と石油安定供給を両立することが望ましい。

石油需要

需要



需要増減（前年同期比）

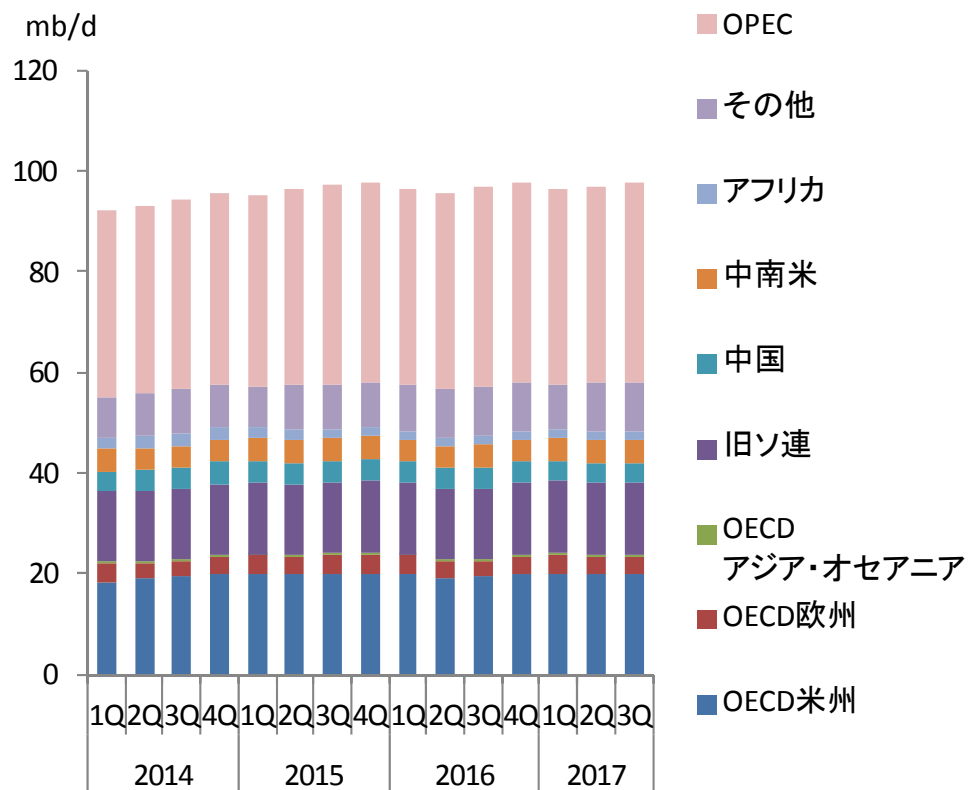


出所: IEA "Oil Market Report"

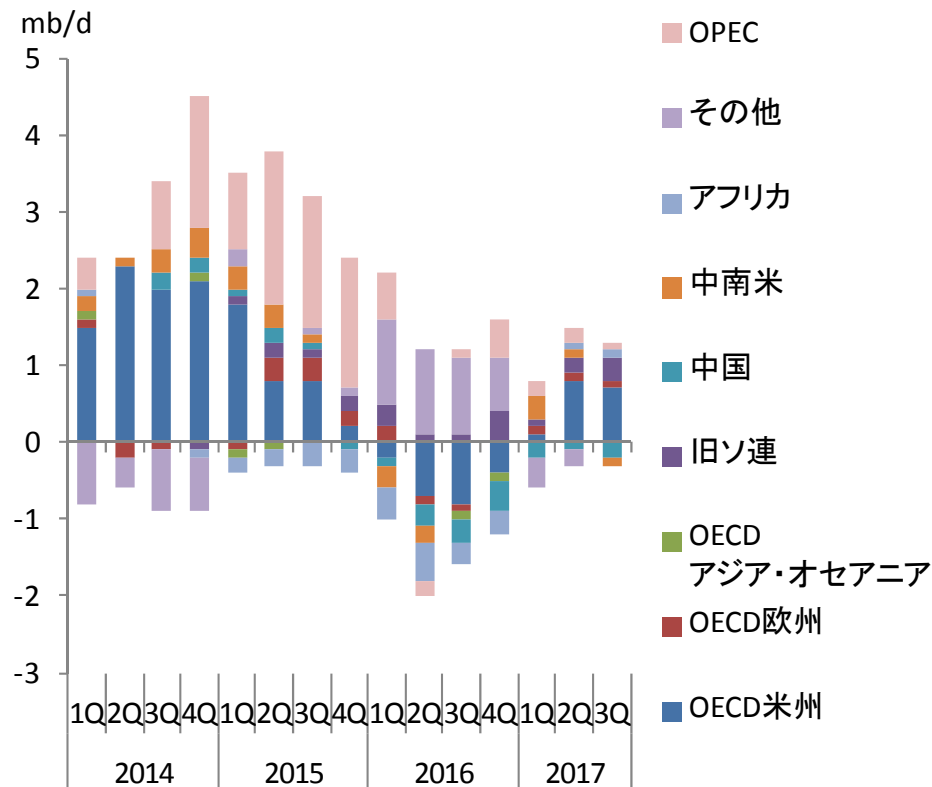
- 2017年第3四半期の需要は前年同期比130万b/d（1.3%）増加の9,800万b/d
- 欧米需要は減速もアジアが需要増を牽引

石油生産

生産量



生産量増減（前年同期比）

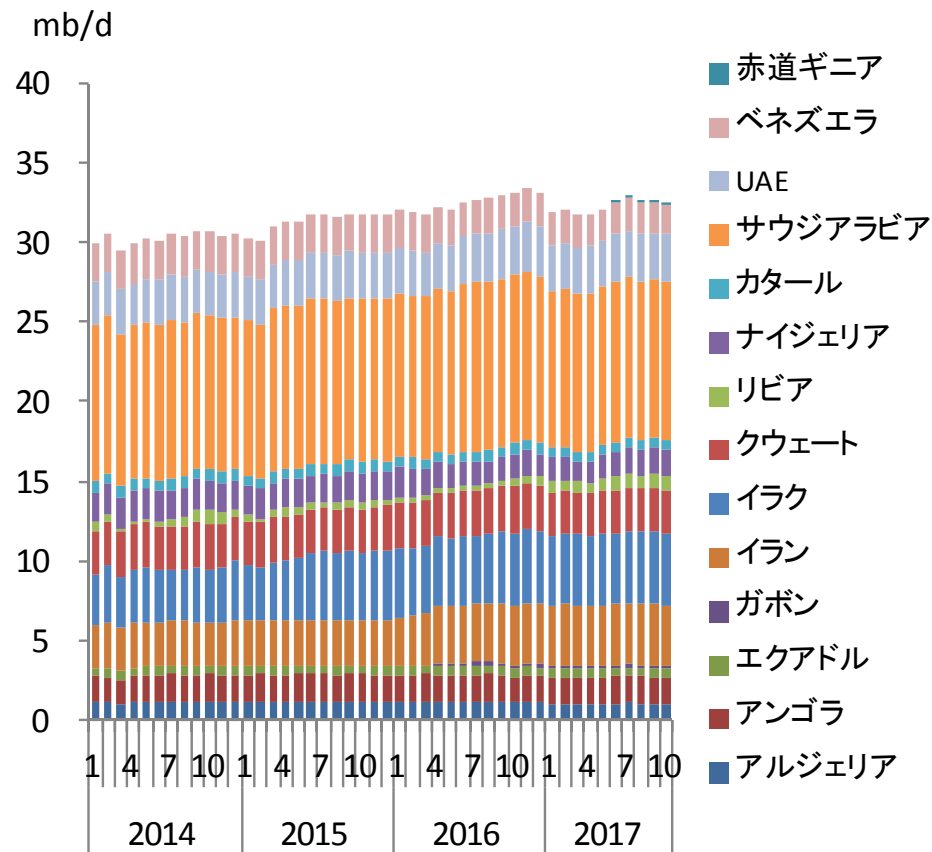


出所: IEA "Oil Market Report"

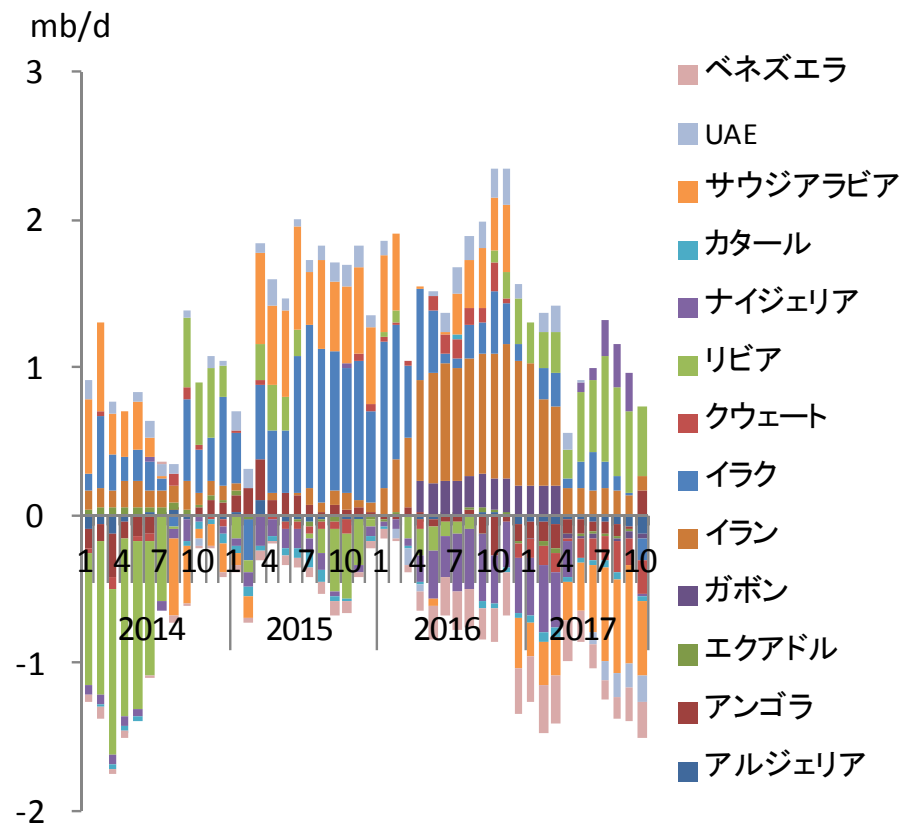
- 2017年第3四半期の生産量は前年同期比80万b/d（0.8%）増の9,780万b/d
- 協調減産によりOPEC生産量は横ばいも、米州の生産量は緩やかに回復

OPEC

原油生産量



生産量増減（前年同期比）

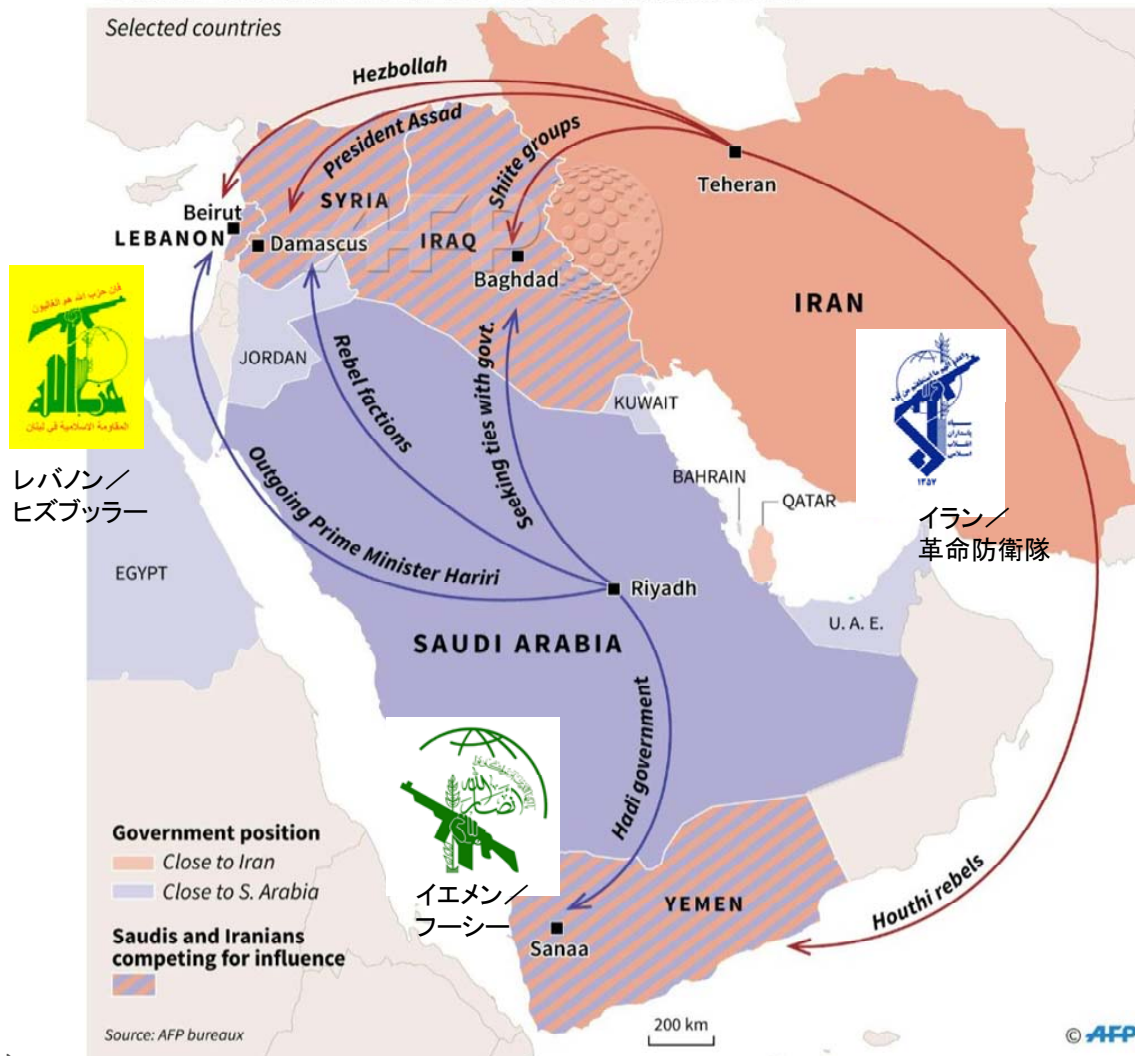


出所: IEA "Oil Market Report"

- 2018年末までの減産延長を決定
- 高水準の減産順守率を維持出来るか?

中東情勢

Saudi-Iranian rivalries in the Middle East

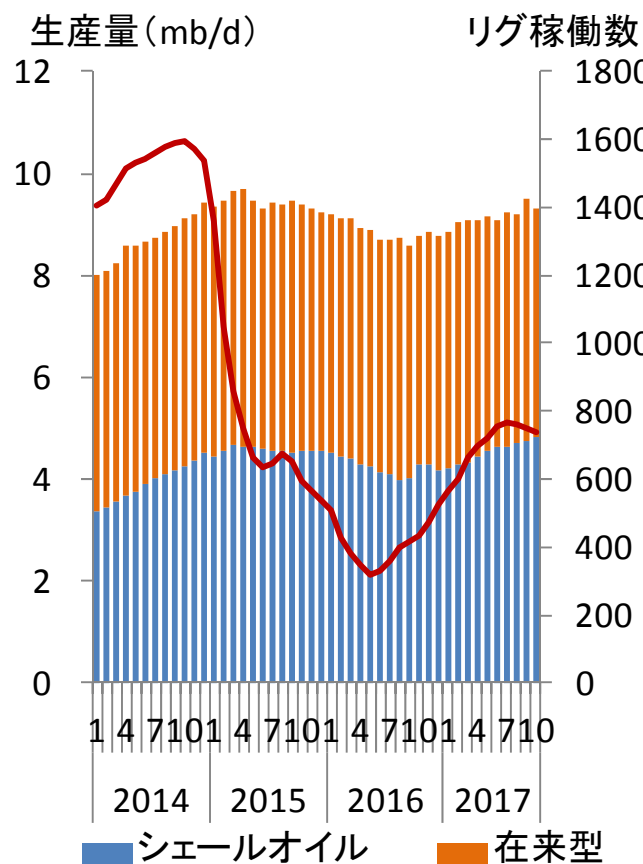


- IS攻略の一方、サウジアラビアとイランは、シリア、イエメン、レバノン等で対立
- 11・12月にかけて、フーシー派がリヤドやアブダビに向けて弾道ミサイルを発射
- 11月には、サウジアラビアの「腐敗防止最高委員会」が王族・閣僚等の逮捕・拘束
- 域内情勢は不安定さを増しており、再び原油価格のプレミアム要因に

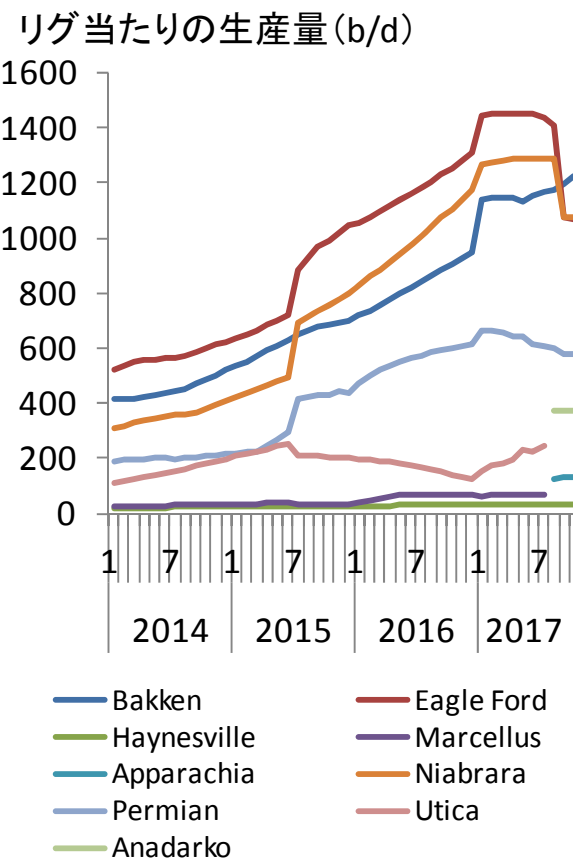
出所:AFP資料に日本エネルギー経済研究所中東研究センター追記

米国

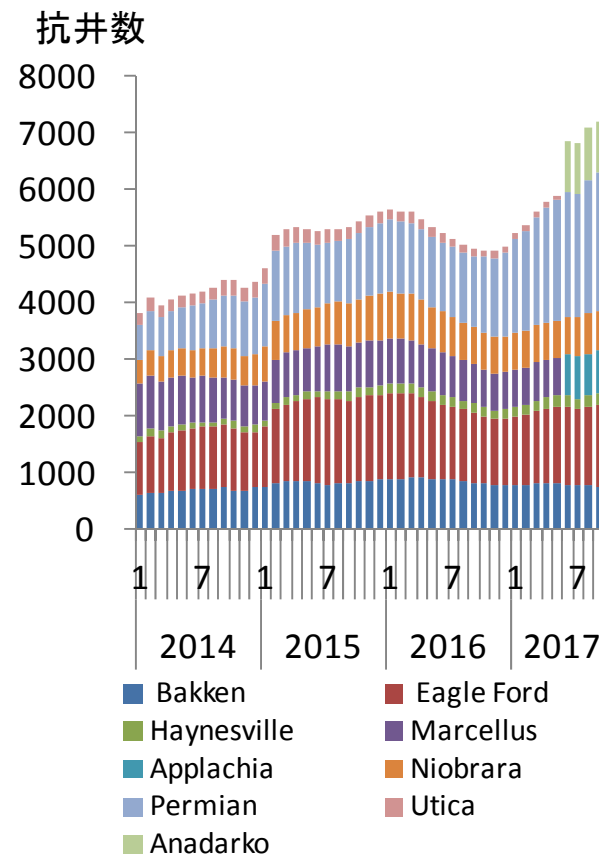
生産量・リグ稼働数



シェールオイル生産性



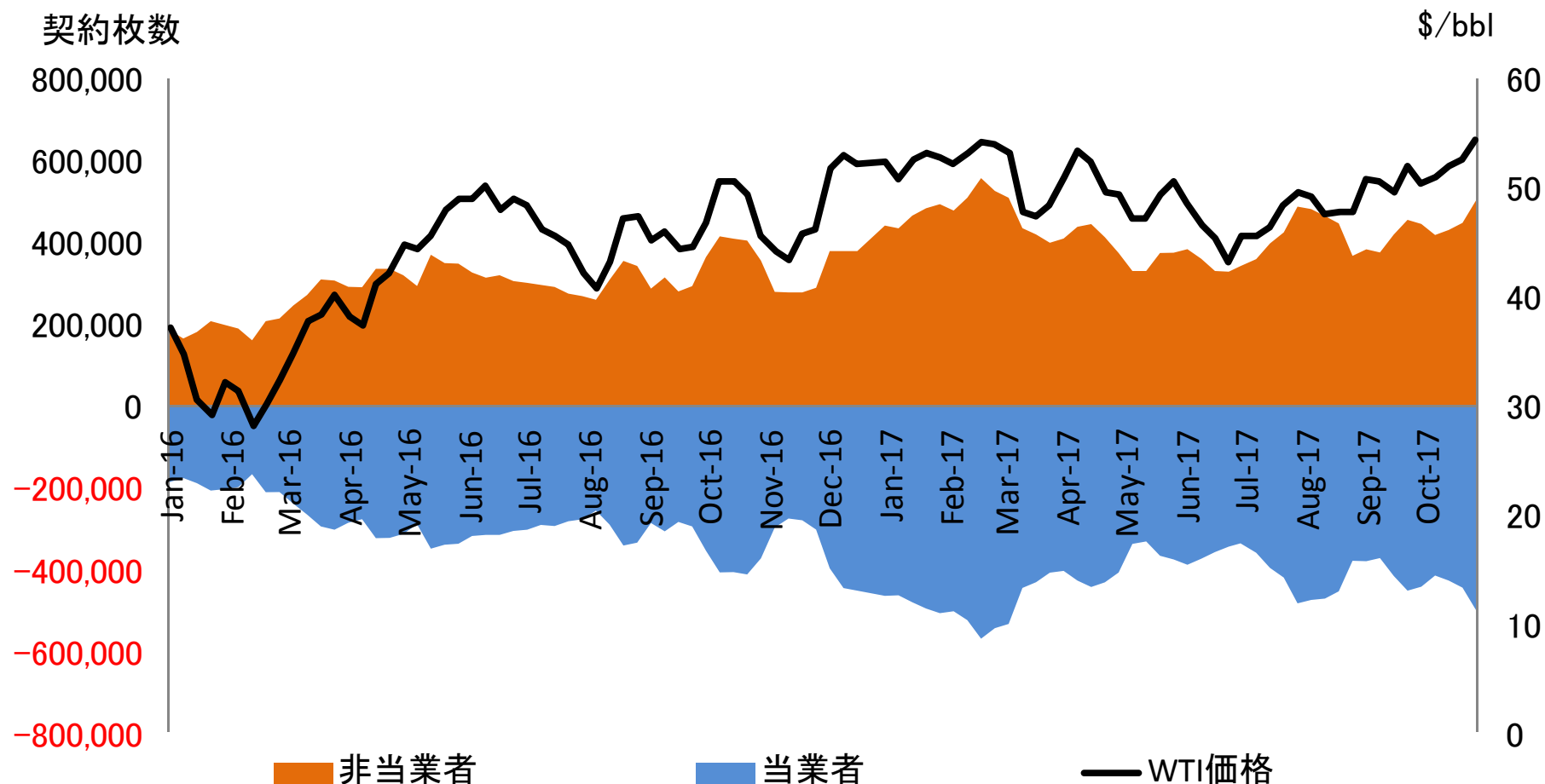
掘削済未仕上抗井数



出所: EIA統計、Baker Hughes “North America Rig Count”

- 2017年9月の原油生産量は前年同月比93万b/d（11%）増の948万b/d
- 生産性向上ペースは鈍化も、価格次第では一定の増産ポテンシャル

WTI先物の当業者・非当業者ポジション

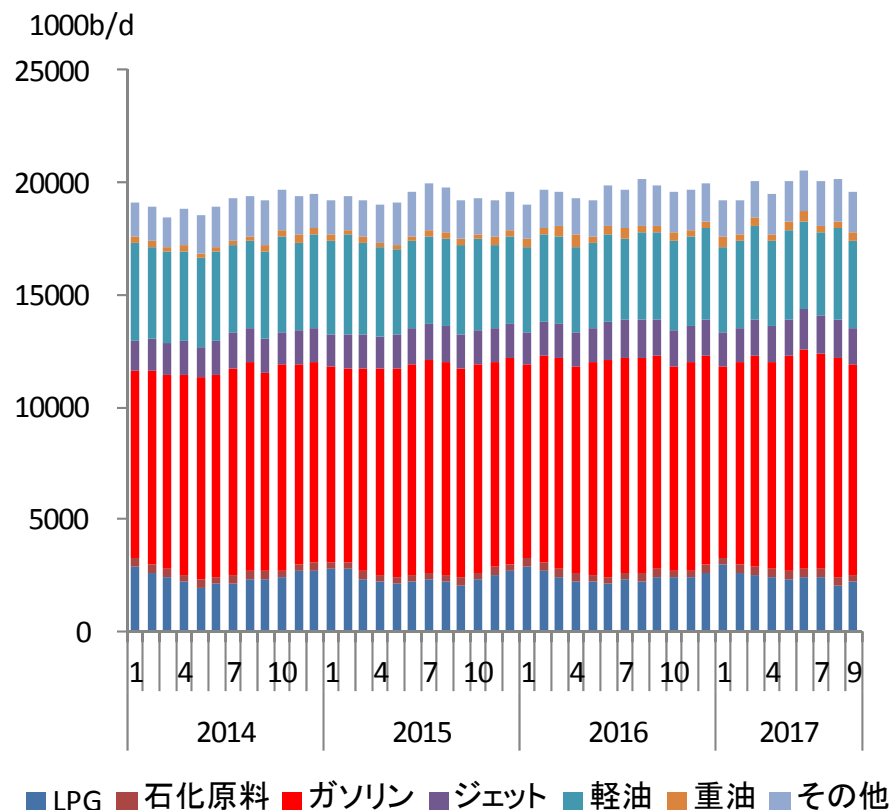


出所：CFTC "Futures Only Report"

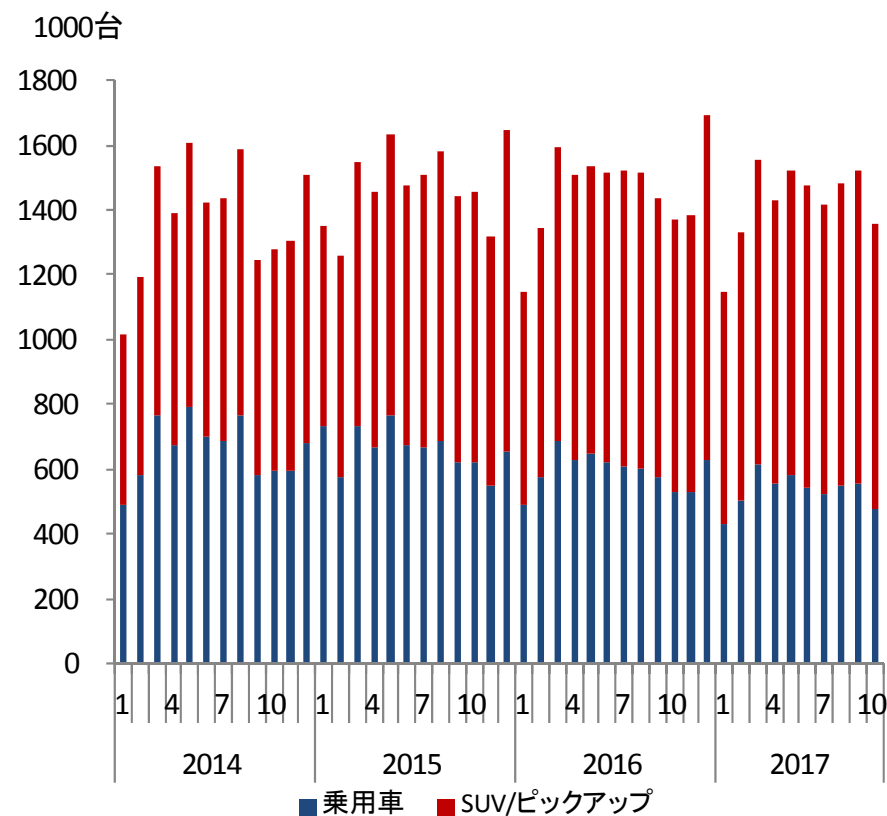
- 価格上昇に伴い、当業者のネットショート（売り越し）ポジションが拡大基調、増産意欲を反映

米国

製品別需要



新車販売台数



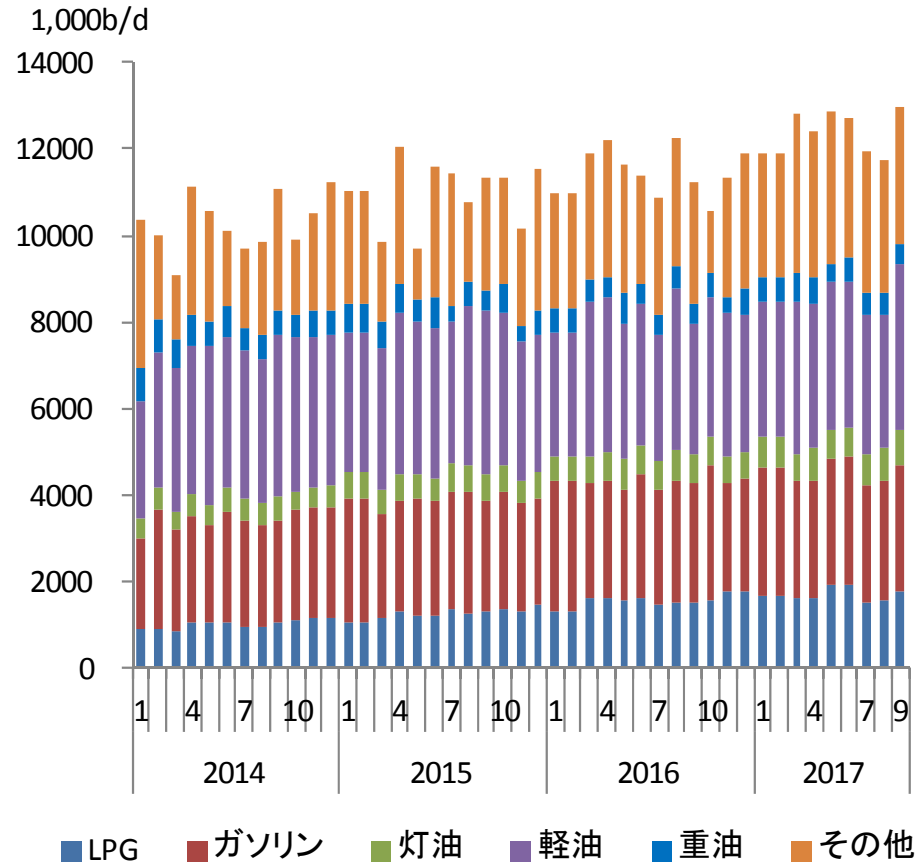
出所: EIA統計、Autodata “U.S. Market Light Vehicle Deliveries”

- 2017年第3四半期の需要は前年同期比0.1%（2万b/d）増の1,992万b/d
- ガソリン需要は横ばいも、軽油、LPG需要は比較的堅調
- 新車販売台数は前年割れの月が多いが引き続き高水準で推移

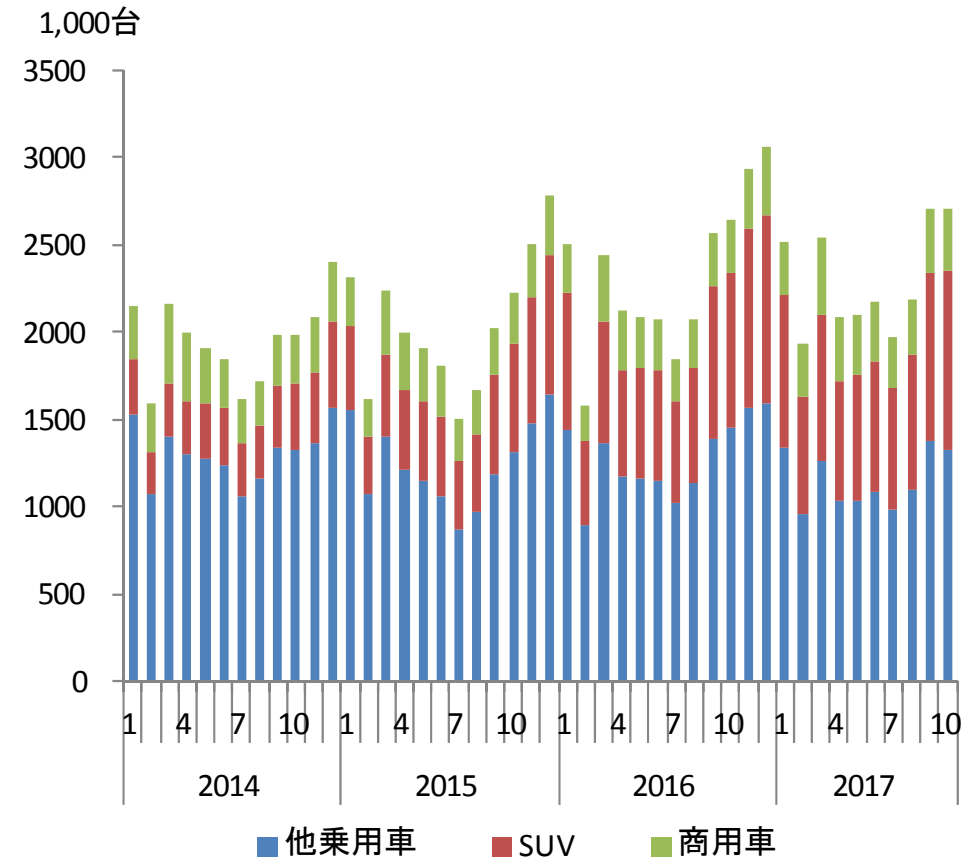
中国

製品別需要

新車販売台数



出所: APEC "EGEDA Database"

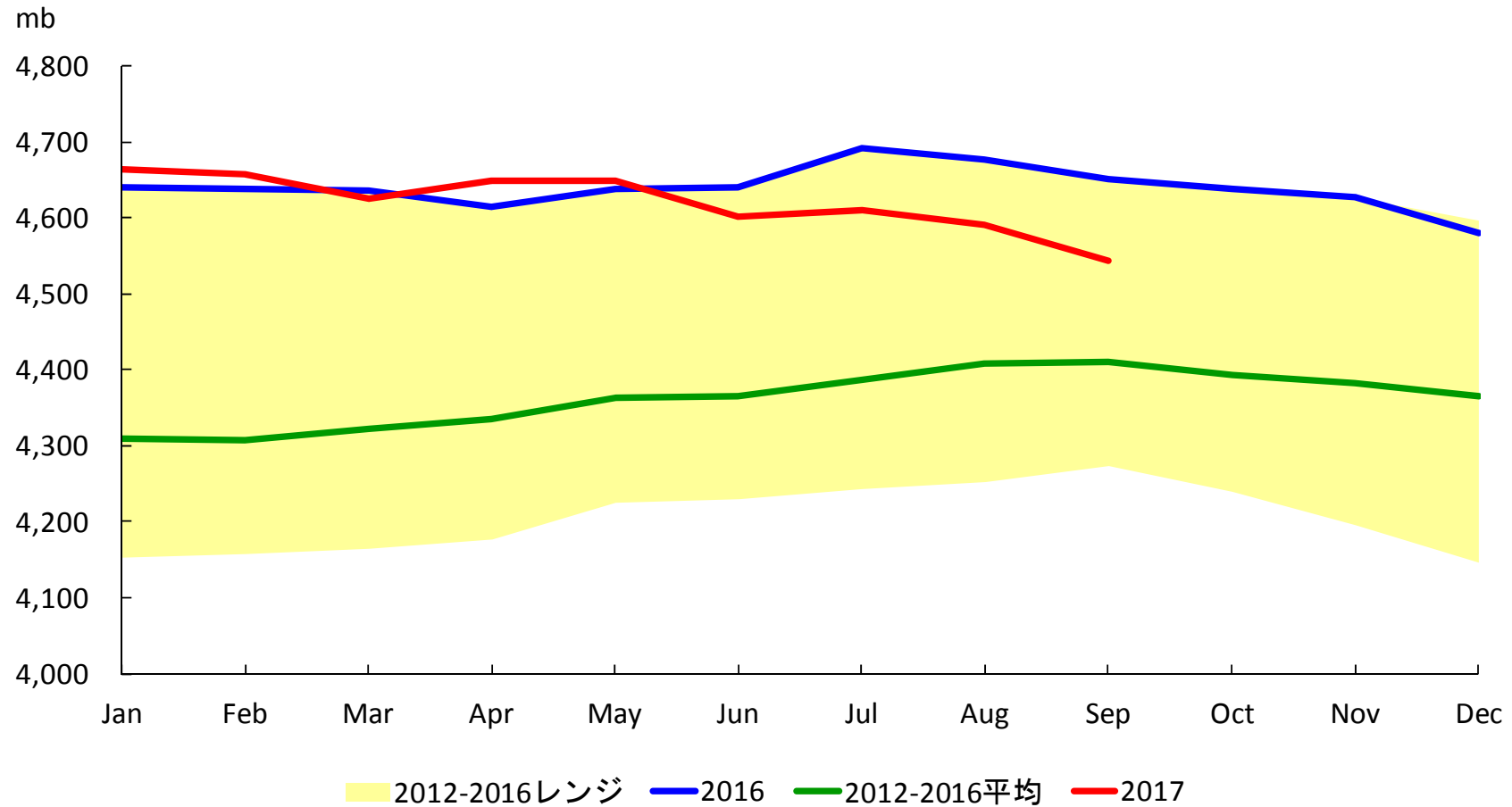


出所: 中国自動車工業協会統計

2017年第3四半期の需要は前年同期比7%（77万b/d）増の1,221万b/d

新車販売台数も好調、ガソリン需要を下支え

OECDの石油在庫



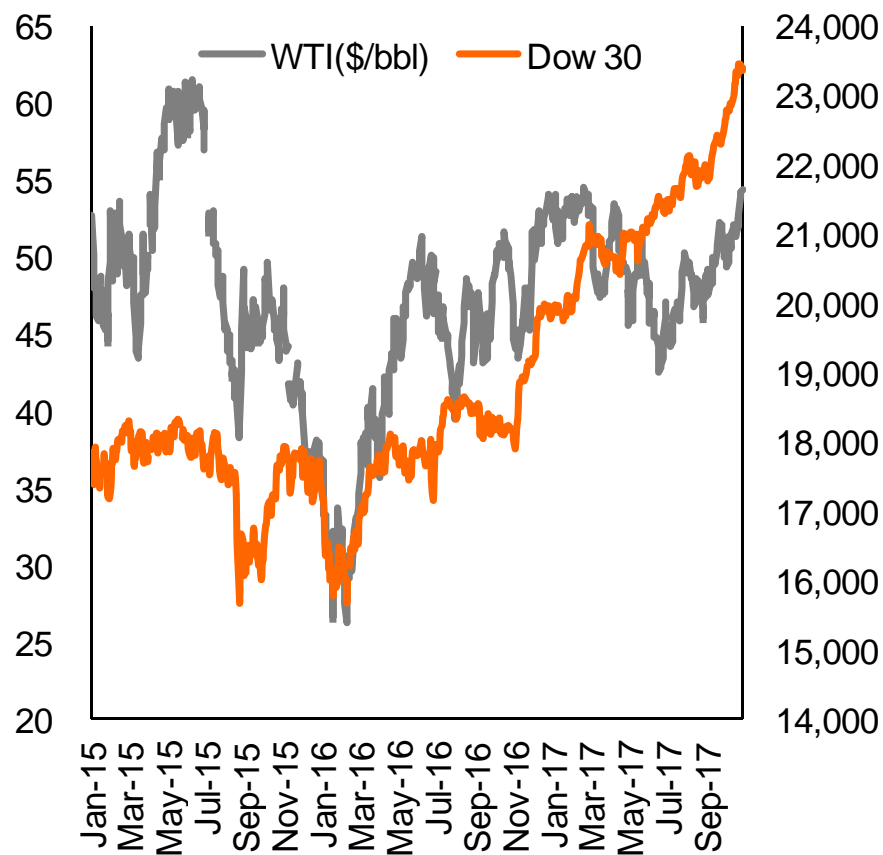
出所: IEA "Oil Market Report"

□ 減少基調にある在庫量

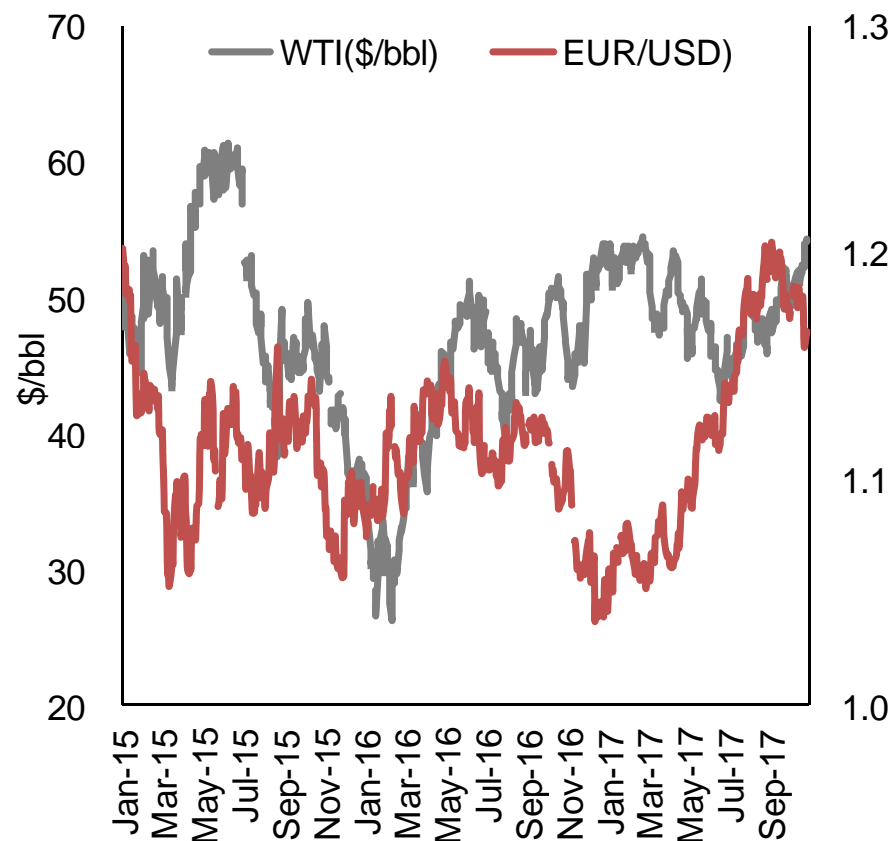
□ しかし、米国の増産で在庫量が再び増加する局面もあり得る

金融市場

油価と株価



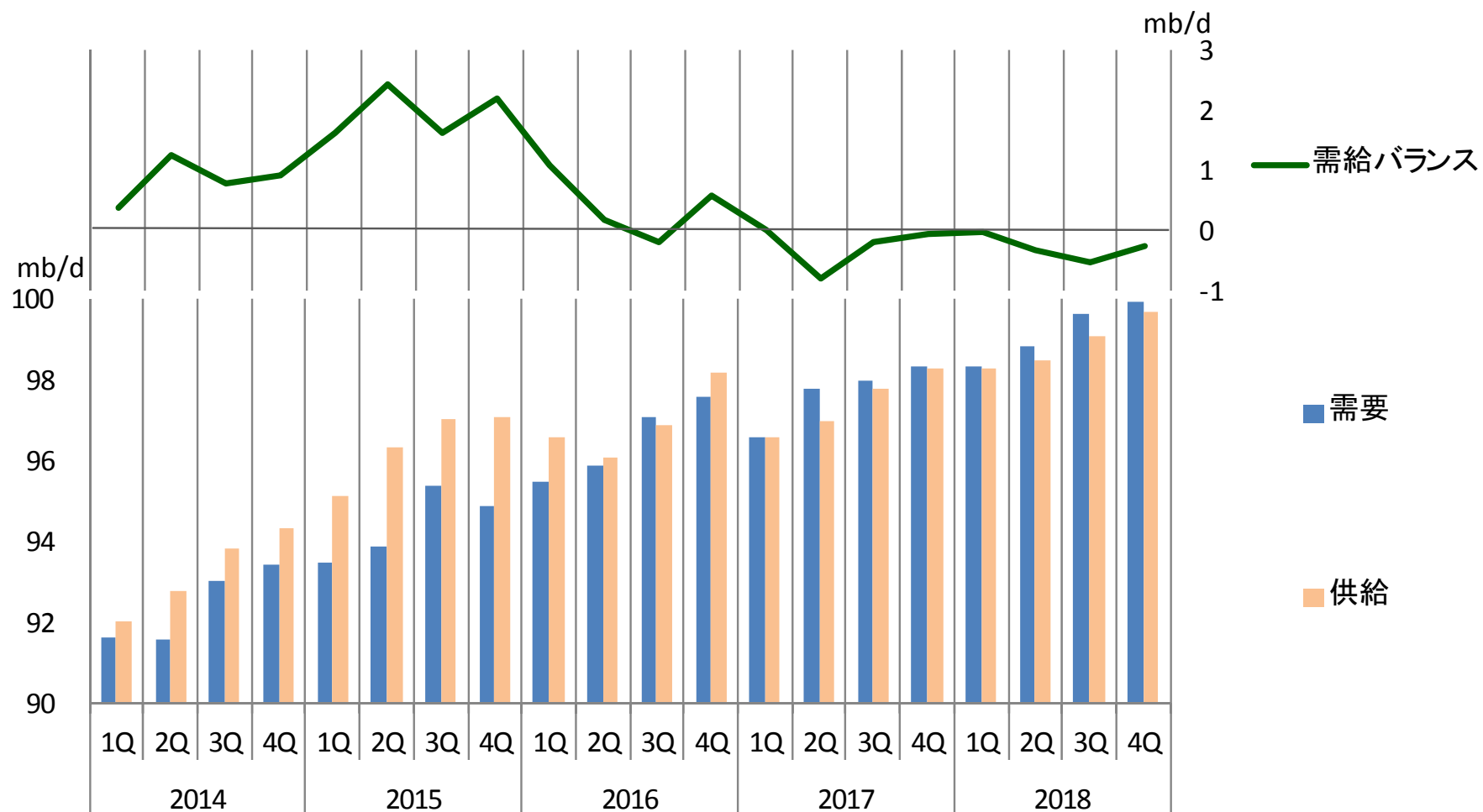
油価と為替



出所: FRB統計

- 株価は堅調だが、新興国金融市場等のリスクは?
- 米国利上げの影響は?

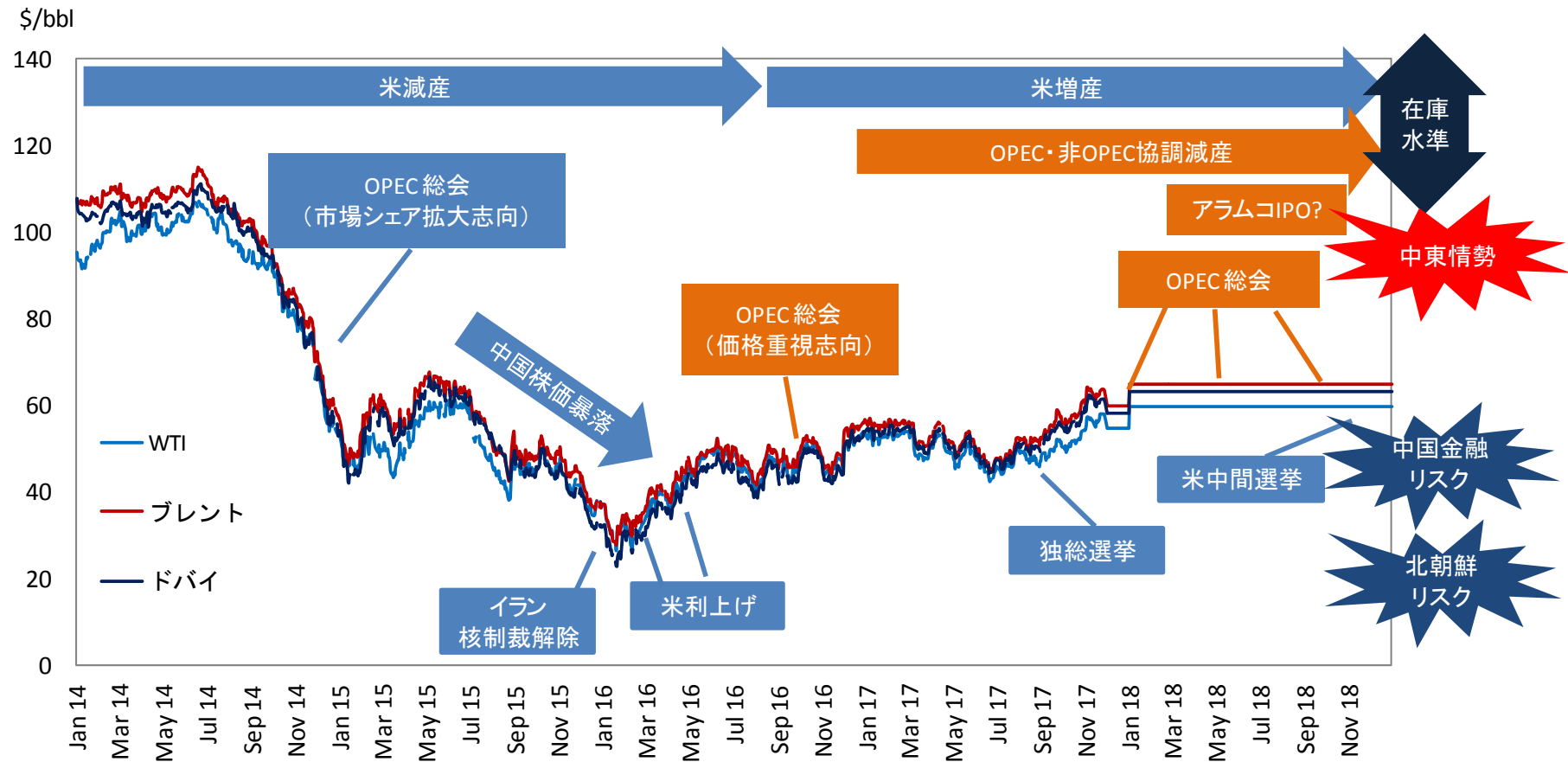
今後の需給バランス見通し



(出所) 日本エネルギー経済研究所作成

□ 協調減産再延長により需給はほぼバランスして推移

国際原油価格の推移と短期見通し

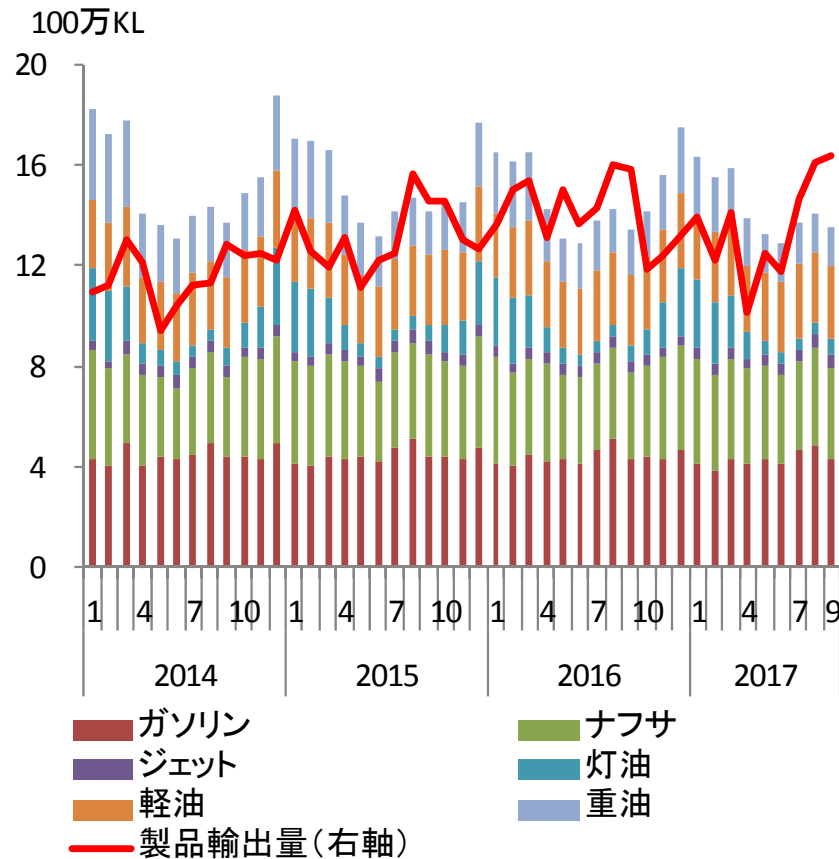


(出所) 日本エネルギー経済研究所作成

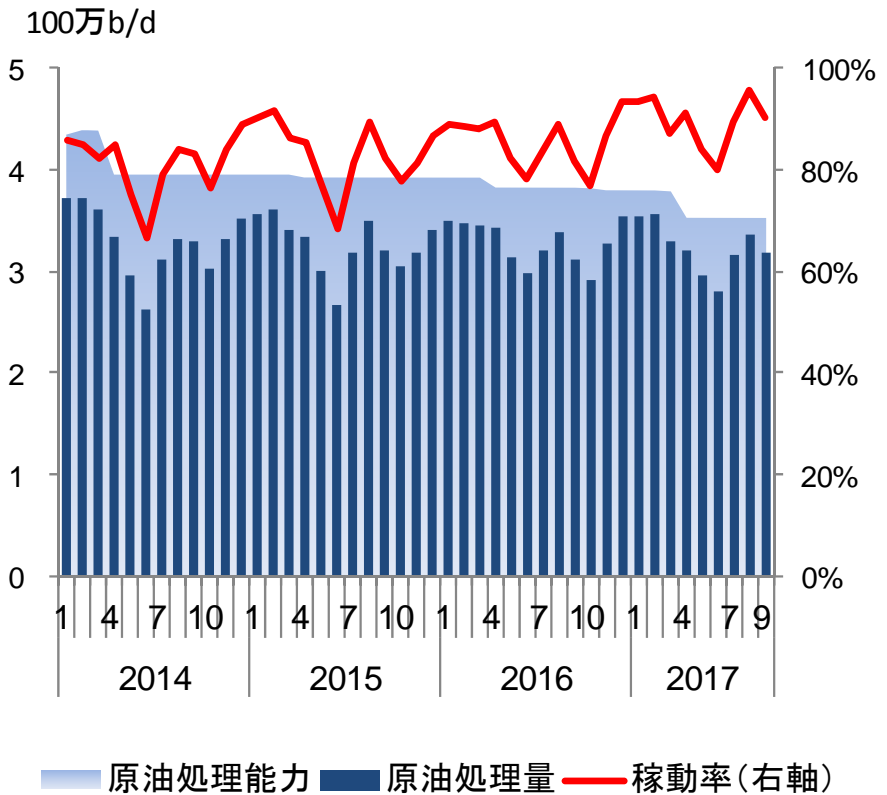
- 2018年の国際原油（Brent）価格は平均で\$65/bblと予測
- 減産による上げ圧力と米国等での増産による下げ圧力が拮抗する
- 米増産と中東地政学リスクによりBrentとWTIの価格差は縮小しづらい

国内需要の動向

製品別需要と輸出



精製能力と稼働率

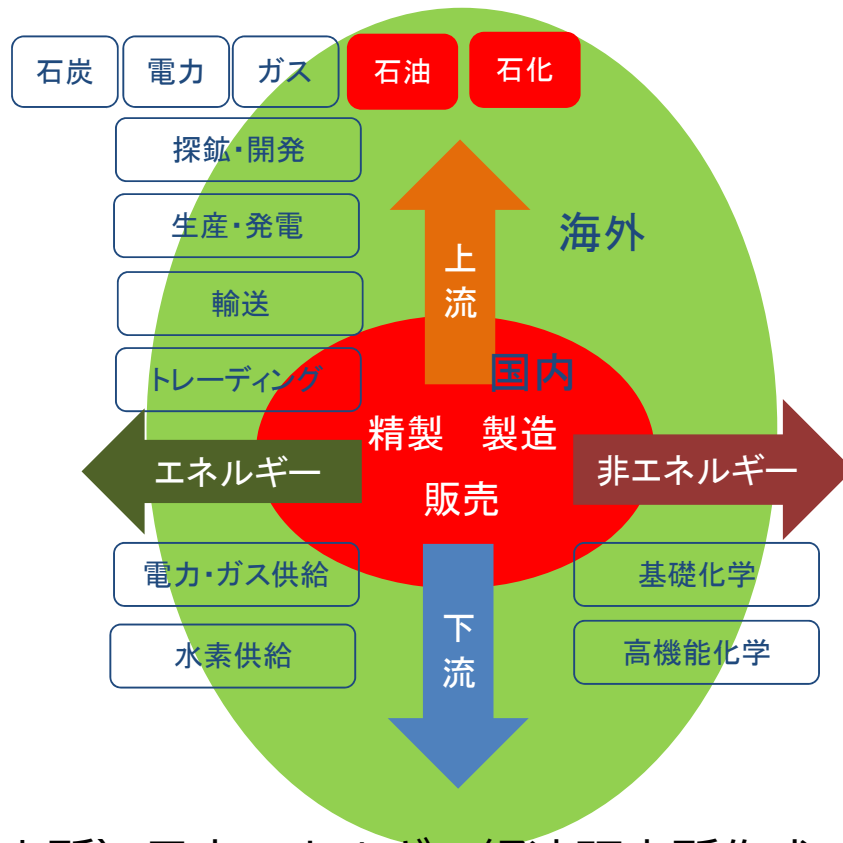


(出所) 経済産業省“資源・エネルギー統計月報”、“経済産業省生産動態統計”

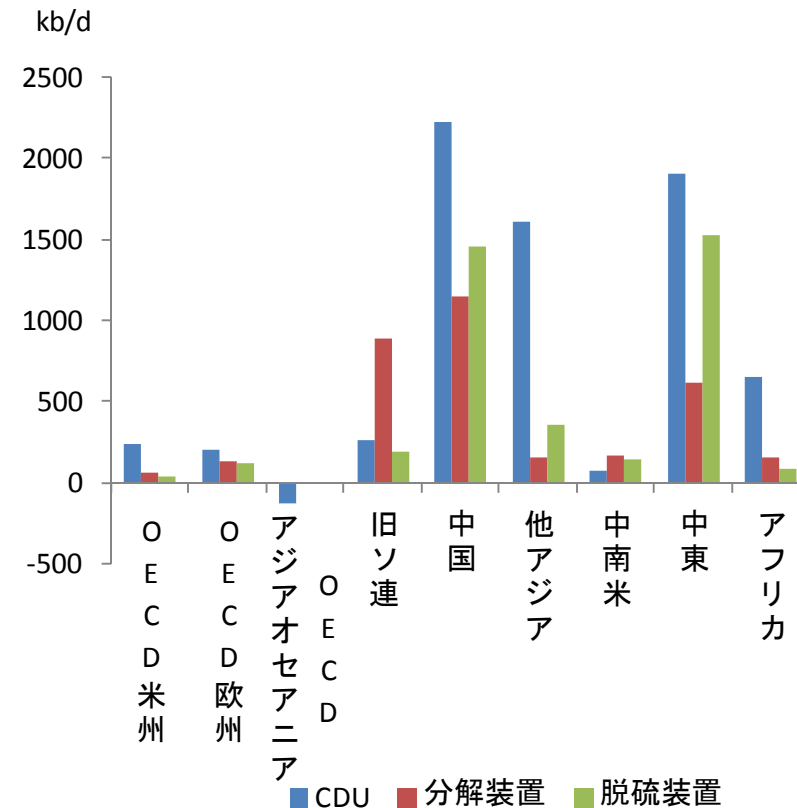
- 構造的な需要減少が継続、輸出量は高水準で推移
- 精製能力削減に伴い稼働率は向上、事業環境が改善

石油会社の海外進出

元売の主要な事業領域



精製能力追加見通し（2016年～2022年）



(出所) 日本エネルギー経済研究所作成 (出所) IEA “Market Report Series : Oil 2017”

- 総合エネルギー企業化と並んで、本邦元売にとって潜在的な新規収益源の一つ
- 販路を確保しつつ、産油国国営石油会社との製油所建設や販売における協業も通じて海外事業拡大と石油安定供給を両立することが望ましい